

## アジア研選書の刊行にあたって

グローバル化が進展するなか、わが国と諸外国との関係は、ますます拡大・深化する方向にあり、海外旅行のみならず、貿易、対外投資、援助などで国際的な仕事に携わる方々も増えていることと思われます。

アジア経済研究所は、開発途上国の経済・政治・社会をはじめとする諸事情を調査・研究し、途上国が直面する問題を掘り起こし、途上国に対するより深い理解を広く国内外に提供することにより、世界への知的貢献をしていくことをめざしております。こうした日々の調査・研究活動の成果を、研究所では、主として学術的ないしは専門的ニーズを充たすべく、書籍や定期刊行物を刊行しております。

一方、冒頭でも述べましたように、わが国と諸外国との関係が広がり、かつ深まるなかでは、諸外国の諸事情を、できるだけわかりやすく、かつ詳しく紹介するニーズも必然的に高まっているものと思われます。このたび上梓いたします「アジア研選書」は、そうしたニーズが高まるなかで、アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカ、オセアニア、東欧諸国など開発途上国の諸事情を、これまで主要な読者層として想定されてきました専門家や研究者の方々に加え、ビジネスや援助を通じて途上国に関わられる方々、さらには学生の方々などできるだけ幅広い読者層を念頭にお伝えしてまいりたいと存じます。

今後、「アジア研選書」は、研究所の出版物の主要な柱を形成するものとして、毎年数点の刊行をめざしております。読者各位のご愛読を賜ることができれば、幸いに存じます。

2005年11月

日本貿易振興機構アジア経済研究所 所長

藤田昌久

